

日本での交換留学 1年間の日本の思い出

高麗大学校
ハンスミン

初めて日本に来る前にはたくさんの心配がありました。母国以外の国で一人暮らしをして、学校にちゃんと通えるかな？ 家族と離れて仲良くなれるかな？ など様々な心配がありました。それでも好きな国、日本での新しい生活と習い事に対する期待感が大きかったです。

4月に日本に初めて来て多様な手続きもして寮の部屋に必要な物を買いながら適応して行きました。学校の建物もどこにあるのかよく分かりませんが、地図を見ながら探し回りました。コンビニに行って買い物をするときは、店員さんの言うことをよく聞き取ろうと集中しながら買い物をしたりしました。そのように1学期が過ぎて熱心に勉強した分日本語も本当にたくさん増えたとし生活もたくさん慣れました。夏休みには日本で付き合った友達の故郷と一緒に遊びに行ったりしました。普段韓国で旅行に行ったことがない香川県での旅行はとても楽しかったし、日本の新しい面を見せてくれました。2学期には慣れた生活で日本を楽しみました。私が日本に適応した以後にもよく生活するのを見てこれから日本での就職も真剣に悩む契機になりました。1学期の時よりもっとレベルの高い授業を聞いたり新しい挑戦もしながら過ごしました。2学期にはまた別の友達の故郷である青森県に行くことができました。日本に住んで多様な地域を訪問できる良い機会が多くてありがとうございました。

日本留学は私にとって様々な選択の道でした。日本語専攻を生かして日本で就職をするのか、日本で長期的に暮らしても良いのか確認できる良い機会でした。結果的に1年間留学をしてよかったと思って多様な経験をすることができました。



その過程で本当に大切な日本の友達二人を付き合うことができました。たくさん助けてもらったり、故郷に招待されたりして、変わった現地の旅行もできました。韓国に帰ってからもその二人の友達が懐かしくなりそうで、また必ず日本に帰って来なければならない理由であり動機になりました。

日本人の友達だけではなく、日本で付き合い合った韓国人留学生の友達も多かったです。見知らぬ外国でお互いを助けながら親しく過ごしたおかげでホームシックもなく楽しく頼りながら過ごすことができたようです。



日本に来る前にやりたかった挑戦リストもありましたが、ほとんど成功しました。 成功的な留学生活には学校の先生たち、指導の先生、友達など多様な方々のおかげで可能だったと思います。 みんなに感謝の気持ちを伝えながら1年の日本留学を無事に終えて行きます。 ありがとうございます。